

3 はじめの言葉

4 論点を探る 最終回

コンピュータ神話

再考のポイント

田原文夫

未だにコンピュータ神話の時代が続いている。だからこそ、コンピュータを使わない社会の在り方を再考する必要がある。かつては何処までコンピュータ化／システム化するかという議論がされたが、今はない。何故、どうしてか。これも再考を必要とする。人をコンピュータに置き換える前の、人を確認したい。そういう時に来ているのではないだろうか。何処か、何かの間違っている。狂っている。正す必要がある。

本編は、今回をもって最終回となります。長らくのご愛読ありがとうございました。

10 情報社会を考える その103

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

新たに7万人弱の介護福祉士

毎年1月に実施される介護福祉士国家試験も、今年(平成30年)度で第31回となるが3月27日に合格発表があった。今年度の受験者数は94,610人で合格者数は69,736人、合格率は73.7%だった。

介護福祉士とは、「社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年5月26日法律第30号)」に基づき、介護福祉士の名称を用いて、専門的知識および技術をもって、身体上または精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者およびその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者をいう。その介護には、喀痰吸引その他の被介護者が日常生活を営むのに必要な行為であって、医師の指示の下に行われるものを含むとされている。

12 デジタルガバメント DG15

デジタル政府の展開 その14

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018年1月16日に日本政府もデジタルガバメント実行計画をeガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28年1月16日から2023年3月31日までの計画である。2018年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府はICTを使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客(国民、企業、職員)側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりがやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

1 9 連載 アーキテクチャ論 (96)

システムの一般参照モデル

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

Hitchins は、システムの創発性 (emergence) を明らかにするために、システムの一般参照モデル (Generic Reference Model) を提案している[1]。

本稿では、まずシステム階層について説明する。次いで、従来のシステムモデルの限界について説明する。また、一般参照モデルの内容について述べる。さらに、Beerの Viable Systems model (VSM)[2]との比較も紹介する。

2 5 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第19回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社(社員)レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経/血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 0 IT新時代とパラダイム・シフト

第113回 顔認証技術の普及にみる

中国と日本の戦略の違い

根本忠明

顔認証技術の革新と普及が進んでいる。生体認証の中で、現在、最も注目されている技術である。中国はその普及と実用化で世界最先端をいく。中国の覇権主義とそれに基づく技術輸出に対して、最近、欧米諸国は警戒感を示しはじめている。中国のように国民監視は表面化していないが、日本でも顔認証技術の普及が進む。最近の動向を紹介したい。

3 3 続インテリジェンスへのいざない 110

今も続いている

宗教戦争のきっかけ

今井 武

宗教戦争の流れの中で

最近、中近東の国家間の争いや移民問題・テロ問題など、キリスト教徒とイスラム教徒の紛争が頻繁にみられる。東アジアの中国、朝鮮や我が国は、蚊帳の外で理解し難いものが多い。せいぜいアラブ諸国における石油利権の争奪戦くらいだろうと高を括っているレベルの観測が大半ではないだろうか。現代は、一神教のキリスト教とイスラム教があらそった中世の十字軍時代の争いを彷彿されるという理解が主流かもしれない。

中世にキリスト教徒のイスラム教徒の居住する地域を占領し、聖地エルサレム(イスラム教とユダヤ教の聖都でもある)への巡礼を3回も行っていった極悪非道のアンジョレー伯フルクに対して、第2回目の巡礼の後、ローマ法王は、献上品の見返りとしてフルクの悪事のすべてを免罪にしていた。

3 5 新連載 「まるで漫画」シリーズ

すぎやまちヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,600円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータウェアハウスの概念	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正確性の問題点とデータウェアハウス	付 録
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 CodeベースによるOLAPプログラムの評価	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析集計の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付 録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 331頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動ピクセス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第八章 人間であること(人間行動ピクセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM KO FIZの組織と基本記
第二章 aism情報セキュリティ研究会の設立	第十二章 メールが漏れかGTL
第三章 認識される電子署名方式の基本論	第十三章 自ネットワーク利用のための情報オーナーの認識
第四章 署名を掛け付けたCodeRedフレーム	第十四章 最近のインターネット新情報セキュリティ対策
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 日万バリエーションの高基と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 WORM(バーチャル)フレームワーク	第十七章 ケーススタディ情報セキュリティ教育I
第八章 aismの2007年度の事業活動	第十八章 電子署名の「署名」作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ研究会の意見と提議	
第十章 インターネット環境の発展と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 企業戦略のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)
A4版 212頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分類方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方規式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒300)
A5版 280頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの発展条件	■ 変革も企業体質
■ ニュースリリースは東方向優先	■ 守るも成るも広報が窓口
■ 数字目標の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編I」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	＜付＞記事とどう付き合う十六の疑問(ほとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国産グローバルサーバー
—EM社会に根ざす国際情報システム作りの物語—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒300)
A5版 269頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 変遷	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 某チーム前後の発展
第三章 国産システムへの働き	第十三章 新たな陣っ手
第四章 WDCに向けて	第十四章 某チーム開発環境と新たな取り組み
第五章 F、C、R開発競争	第十五章 国産システムとクラウド
第六章 日本プロジェクトチームの覚悟	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本開発体制と本業開発日程
第八章 某チーム立ち上げの誤れ	第十八章 国産システムとのデータ連携の課題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 開発その一 前編、開発の苦しみ
第十章 某チーム、壁となる三人組	第二十章 開発その二 実装開発と企業センター稼働

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp